水辺に遊ぶ会
PROFILE
In
中津干潟

NPO法人水辺に遊ぶ会

中津干潟

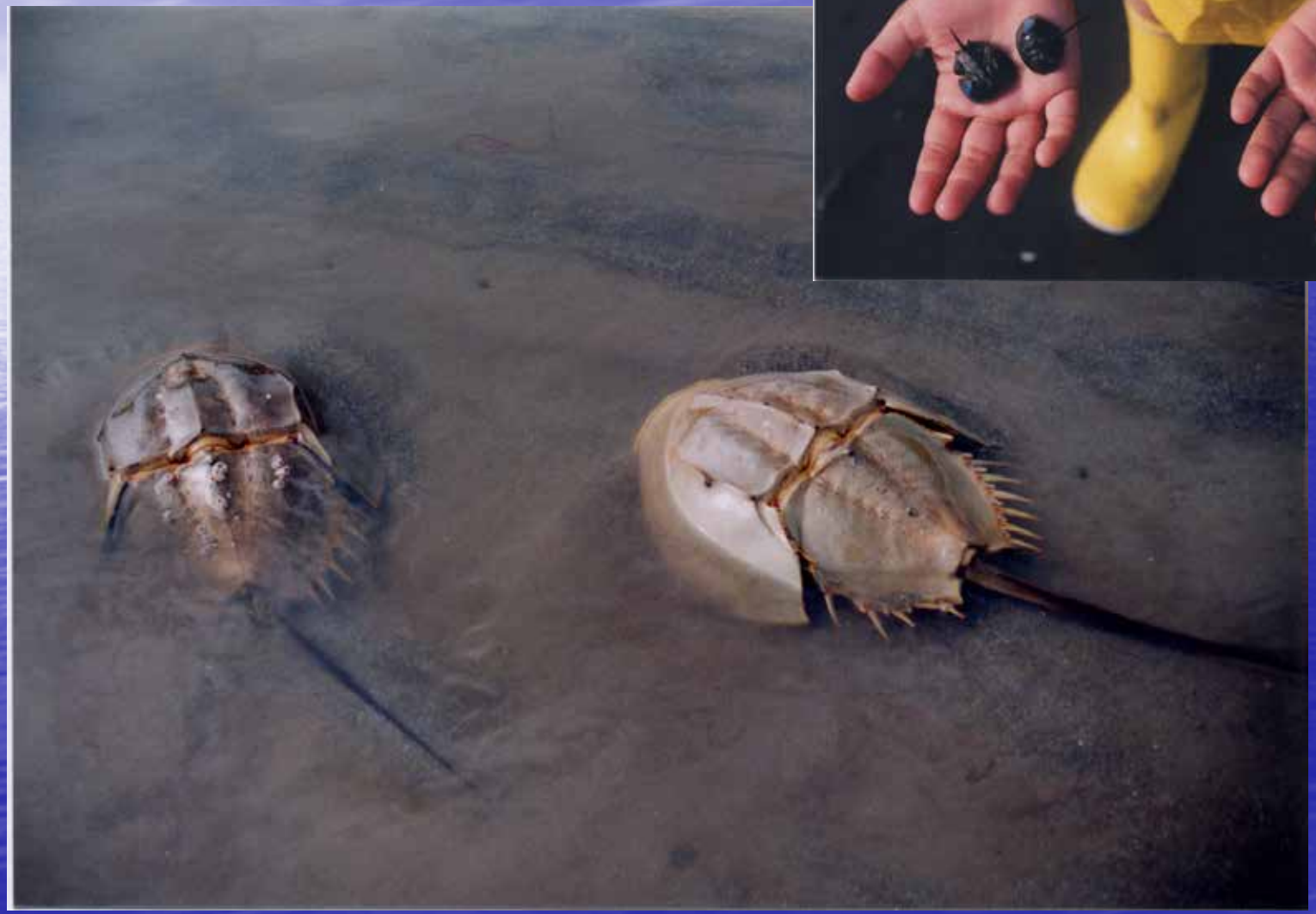
沿岸延長：約10km　干潟面積：約1,347ha

福岡県豊前市から大分県国東半島にかけて広がる広大な干潟の中央に位置する中津干潟は瀬戸内海最大の干潟です。水辺に遊ぶ会は、この中津干潟をフィールドに、泥んこになりながら地域の自然を再発見し、豊かな海を未来に残すため、様々な活動を行っています。

生物多様性

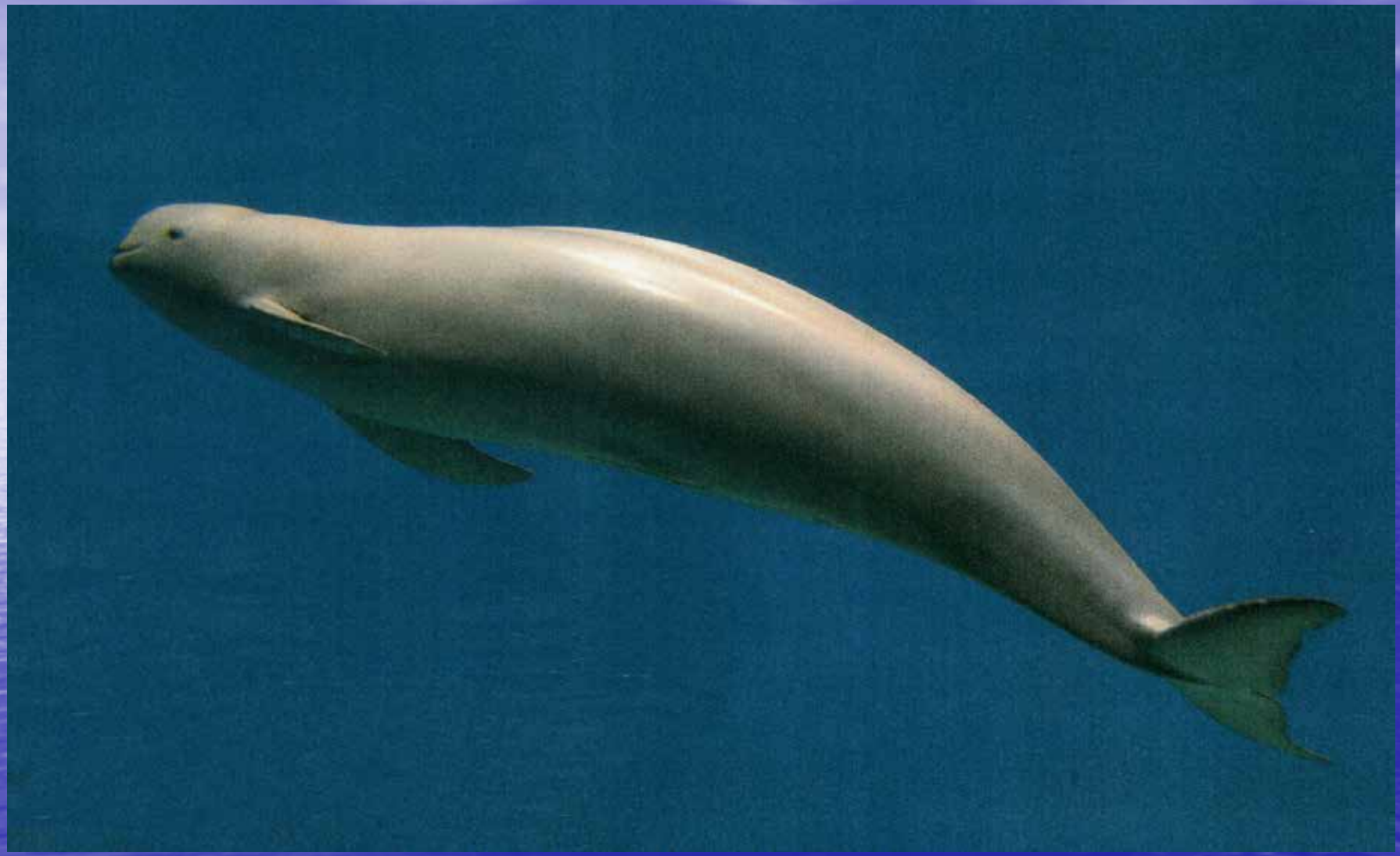
中津干潟には日本の各地で見られなくなりつつある環境が現存し、
そこには多種多様な生物が生息しています。
まさに生物多様性に富んだ場所なのです。
私たちの調査により、中津干潟で確認された生物種の約３５％が
希少種であることがわかっています。

カブトガニ



アオギス

ズグロカモメ



スナメリ

写真：うみたまご

ずぼっとはまって
ひがたあそびは楽し
自然観察会

活動のメインは干潟観察会。
ぐちゃぐちゃの干潟に初めて入る時にはへっぴり腰の子どもたちも、
ほんの数十分で歓声を上げて遊びはじめます。
足下の小さな生命のつぶやきに気がついてしまったら、
もうアナタは中津干潟のとりこ。
中津干潟にはフシギがいっぱいです。

にんきものは
カブトガニ
環境学習・啓発活動

中津干潟のアイドルは、なんてったってカブトガニ。
でも、その他にもスゴイ生きものがいっぱいいるんだよ。
中津の海、もっともっと好きになってね。
ということで、オリジナルアヤシゲ教材を抱えて、
お呼びがかかればどこまでも！　出前講座に出かけます。

みんなつながってる
川と森の学習

山と川と海はつながっている。
中津干潟を守るためには、山や川も大切にしなくちゃね。
森や川でも体験活動や学習をしています。

あやしい干潟調査隊
参上
調査研究活動

普通の人だってやればできるんだぞ！
という自信をもってばく進中の
「あやしい干潟調査隊」。
泥をほじくり続け、干潟を走り回って１４年。
次々と不思議な生きものを発見し、
無名だった中津干潟を
「干潟界の大スター」へと変身させた
功績は大きいのです。

便利な世の中のひずみを海岸に見る
ビーチクリーン・海ごみ調査

年4回実施している
海岸清掃と漂着物調査。
海岸には社会を反映する様々なゴミが
流れ着きます。
これって黙々と拾うだけでいいのかな？
というギモンから、
海ごみ調査をはじめました。
「楽しくなくちゃ続かない」をモットーに、
漂着ゴミ不思議コレクションも収集中。

尊敬するのは
漁師さん
干潟漁業との連携

中津ん潟一番よう知っとうのは漁師さんじゃけぇ、
やぁっぱ漁師さんとは仲良うせんとね。
ということで漁業体験を始めました。
子どもや地域の人に中津の沿岸漁業を知ってもらうことも
海を守ることの大事な要素です。

文化や歴史は
大切な海の記憶
海と浜の郷土史調査

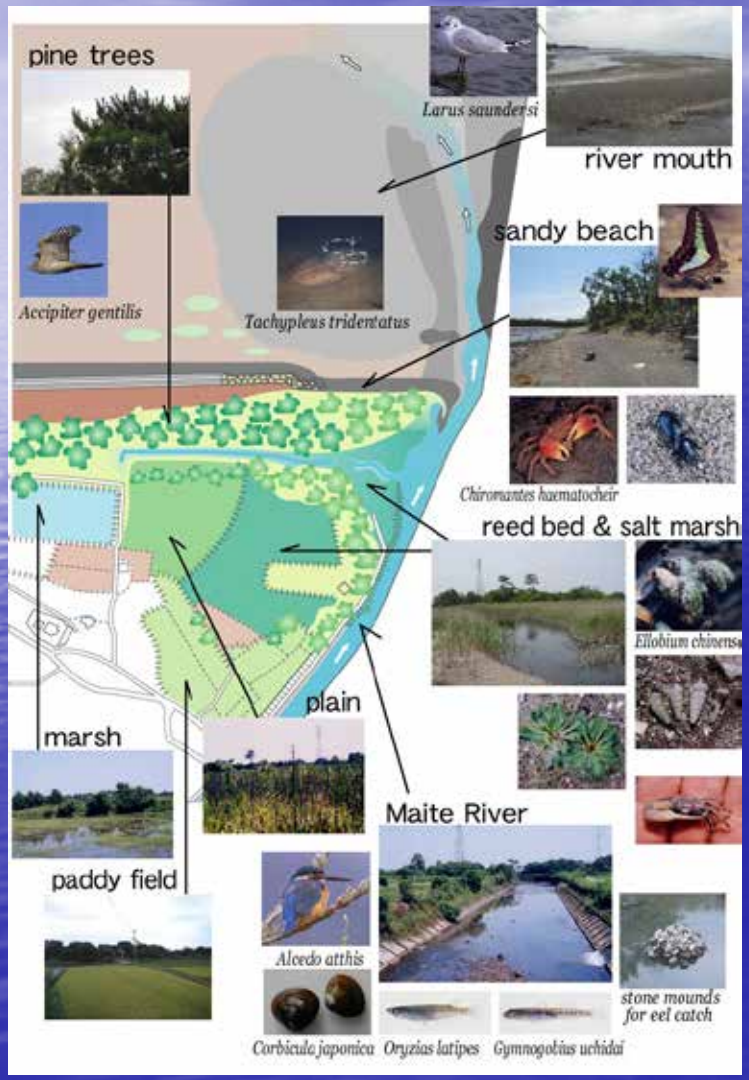
じいちゃんの記憶の中の海や、一枚の写真が語る海、
工夫を重ねた漁具などを発掘して記録に残すための活動も実施中。
お年寄りとお茶のみ話に花を咲かせるのも楽しい時間です。

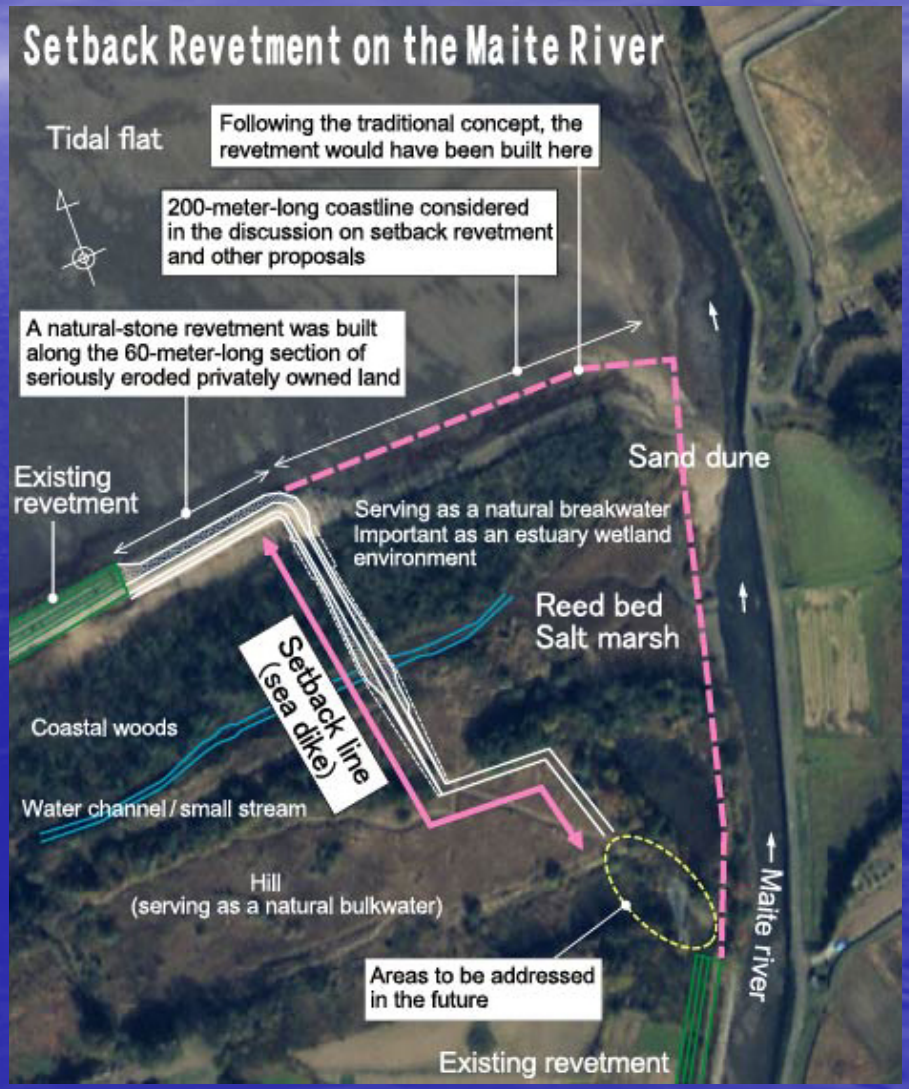
仮想博物館
水辺に遊ぶ会MUSEUM
情報の収集と発信

せっかく集めた情報はたくさんの人に伝えないかんが、
中津には博物館や大学がないんだよー。
てなわけでＨＰの中に博物館作っちゃいました。

人と海のよりよい関係を目指して
沿岸域の合意形成推進

沿岸域の環境の保全と地域の人々のくらしが
ともによりよい関係でありつづけることができるよう、
様々な立場の人々が意見を交わす場の提供や、
理解を深めるための情報の提供を行っています。





いつの間にか遠くなってしまった
「海と人のこころの距離」をとりもどすために・・・。